

Q4： 学級活動の1単位時間の指導計画(学習指導案)を作成する際に、どのようなことに留意すればよいか。

A： 学級活動の1単位時間の指導計画は、学級活動の活動内容(1)と(2)・(3)の特質を踏まえて作成する必要がある。学級活動(1)は、「集団での話し合いを通して、集団の目標を決定し、集団で実践する児童生徒の自発的、自治的な活動」を特質としている。学級活動(2)や(3)は、「集団での話し合いを通して、個人の目標を自己決定し、個人で実践する児童生徒の自主的、実践的な活動」を特質としている。したがって、これらの特質を踏まえた話し合い等の活動過程にすることが大切である。一般的には、以下のような一連の活動過程が考えられるが、このようなプロセスで、小学校1年から中学校3年まで、組織的に活動させることが大切である。

【学級活動の事前・本時・事後の一連の活動過程】

	活動過程	学級や学校としての問題や課題	共通した個人的な問題や課題
		主としてみんなで決定して、みんなで取り組む活動……………【自発的、自治的活動】 小・中学校：主として内容(1)「学級や学校の生活づくり」	主として自分で決定し、自分で取り組む活動……………【自主的、実践的活動】 小学校：主として内容(2)「日常生活や学習への適応及び健康安全」 中学校：主として内容(2)「適応と成長及び健康安全」、内容(3)「学業と進路」
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">発見意識化共通化</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">認識化共有化</div>	事前の活動	教師の適切な指導の下に、児童生徒が次の活動を行う。 <b>(1)問題や課題の発見・収集</b> (子どもによる発見) 学級意見箱、生活ノート、個人ノート、学級日誌、朝の会や帰りの会での話し合いや反省、係活動や当番活動の活動内容や反省、教師の呼びかけ等 学級活動計画委員会等の活用により、よりよい学級や学校の生活づくりにかかわる諸問題等を見付け、提案をする。	教師が意図的、計画的な指導構想の下に次のようなことを行う。 <b>(1)問題や課題の発見・確認</b> (教師・子どもによる提示) 学級活動年間指導計画、生活ノート、教育相談、日常の観察(生活・健康・安全・学習など)等 年間指導計画において取り上げる題材についての学級の児童生徒の問題の状況などを確認する。 学級活動計画委員会等を活用することも考えられる。
		<b>(2)共同の問題(活動)の設定</b> 協力して達成したり、解決したりする共同の問題(活動)を決めて、問題意識を共有化する。	<b>(2)共同の問題(活動)の設定</b> 個々の児童生徒が共通に解決すべき問題として授業で取り上げる内容を決めて、児童生徒に伝え、問題意識を共有化させる。
		<b>(3)議題の決定(中学校は題材)</b> 目標を達成したり、問題を解決したりするために、全員で話し合うべき「議題」(「題材」)を決める。〔1議題(題材)1活動〕	<b>(3)題材の決定</b> 個々の児童生徒が共通に解決すべき問題として「題材(名)」を教師が決める。
		<b>(4)活動計画の立案・作成</b> 話し合いの柱や順番など、話し合い活動(学級会の活動計画)を作成する。 (教師は、指導計画を作成する。) ・提案理由や話し合いの柱を検討する。 ・事前のアンケート等の調査や活動を行う。 ・資料を作成する。 ・役割を分担する。等	<b>(4)指導(活動)計画の立案</b> 導入、展開、終末の指導計画を作成し事前調査をしたり、資料を作成したりする(発達の段階に即して児童生徒の自主的な活動を取り入れるようにする)。 ・指導(活動)の展開を検討する。 ・事前のアンケート等の調査や活動を行う。 ・資料を作成する。 ・役割を分担する。等
		<b>(5)問題の意識化</b> 話し合うことについて考えたり、情報を収集したりして、自分の考えをまとめるなど問題意識をもつ。	<b>(5)問題の意識化</b> 授業において取り上げる問題について自分の現状について考えたり、学級の現状を調べたりして問題意識をもつ。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">原因追求解決策</div>	本時の活動	<b>(6)集団討議による集団目標の集団決定</b> <b>【話し合い活動】</b> 議題(題材)を確認し、役割を紹介する。 提案理由を発表し活動テーマを確認する。 ・提案理由の発表は、資料等を用いて行う。 話し合い活動を行う。 ・それぞれの意見のよさを統合する。 話し合いの評価をする。	<b>(6)集団思考による個人目標の自己決定</b> <b>【話し合い活動】</b> 問題の状況等を明確にする。 共通した問題であることを明確にする。 問題の原因を明らかにする。 集団思考により解決策を見い出す。 実践方法を自己決定する。 実践意欲をもつようにする。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">意志決定</div>		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <b>集団決定</b>              みんなの意見の統合、みんなの総意による決定           </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <b>自己決定</b>              みんなの意見を参考にし、自分に適した解決策や目標を決定           </div>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">実践</div>	事後の活動	<b>(7)集団での実践</b> ・具体的な実践計画を立てる。 ・全員で役割分担し、協力して集団としての実践活動を行い、目標の実現を目指す。	<b>(7)個人による実践</b> ・自己決定に基づいて一人一人が努力し目標の実現を目指す。 ・反省、評価を繰り返しながら一定期間実践する。 ・家庭との連携を図る。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">反省・評価</div>		<b>(8)反省、評価</b> ・活動の成果や問題点を振り返り、評価・確認をする。 ・新たな解決策、改善策を考える。	<b>(8)反省、評価</b> ・努力の成果や問題点を振り返り、評価・確認をする。 ・新たな解決策、改善策を考える。